

令和5年度 学生による地域フィールドワーク研究助成事業  
研究成果報告書

- ・機関及び学部、学科等名  
富山短期大学 経営情報学科
- ・所属ゼミ  
東野ゼミ
- ・指導教員  
東野 善男
- ・代表学生  
山本 真奈美
- ・参加学生  
金津 友美、小塚 百華、真野 幸那、五十嵐 真実、柴田 七虹美、柳川 絢香

【研究題目】

1. 課題解決策の要約

研究タイトル:「多世代交流を促進するブックイベントの実態と地域活動としての可能性に関する研究」

- ・課題 No.9 若い世代の地域活動への参加促進について
- ・研究分野: (G)その他の活性化 (読書推進活動)

本研究は、読書推進活動の基盤となるブックイベントを開催し、若者と高齢者が協同して地域活動を実施する可能性を検証する。地域活動をはじめると同時に、地域活性の定義を、「他の地域の方も来たいと思ってもらえること・地域の人が交流できる場を創出すること」と定めた。その上で、下記の4か所で古本市や展示会等の実証実験を行い、ブックイベントの実態調査と地域活動・地域活性化が可能であるか、検証を行った。

①KOTELLO(立山町)、②旧北陸道アート in 小杉(射水市)、③朱雀堂コラボ(滑川市)、④図書館総合展(神奈川県横浜市)

ブックイベントを実施した理由は、富山短期大学は県内で唯一「図書館司書」の資格取得が可能なおもあり、本好きな学生が多く在籍していることが挙げられる。今まで行ってきた古本市を通じて、本を通して地域との交流が出来るようなブックイベントを行いたいという意見が学生の中で熟成されてきた。

①～④の各イベント時や終了後には、関係者と、「どのような出来事があったか」「良かった点や反省点はどのようなものか」などを振り返りながら、活動実態を記録してきた。

最後には、来場者アンケートの分析も含め、「情報発信」「ネットワークづくり」という面からみたイベントの継続プランを提案する。

2. 調査研究の目的

研究代表者は、射水市の地域イベント「旧北陸道アート in 小杉」にて過去5回(2018～)出店、射水市の「かわべ解放 WEEK」(2022)や富山短期大学の大学祭(2021～)などにおいて、古本市を運営してきた実績がある。これまでの古本市を運営した経験を通じて、ブックイベントは高齢者とのコミュニケーション・交流の場となる可能性があると考えた。本研究では、地域活動の前提ともなる多世代交流の機会を創り出す方法論を提案することを目的とする。

3. 調査研究の内容

はじめに、古本市で販売した古本について述べる。古本は富山ユネスコ協会青年部の池上勁氏から提供を受けた。池上氏が実施している「青空古本市」(1977年から開催)における古本販売の益金は、タイの「子ども村学園」の教材代等に使用されており、我々も本を通して世界の子どもたちへの支援ができる活動に賛同している。また、多くの在庫から選書を行わせていただけるため、学生にとっては、一から古本市に関わり、開催できるという貴重な経験となる。そのプロセスにおいて、本に対しての理解や関心が深まり、かつ自分自身で選んだ本が売れる喜びも経験できる。

2023年3月25日に学生13名で約450冊の古本の選書を行った。4月には富山短期大学経営情報学科全学年に向け、古本の募集をメールにて行った結果、143冊の古本が集まった。

次に、それぞれの古本市・ブックイベントの詳細を述べていく。

## ①KOTELLO でのブックイベント

KOTELLO は、旧芦峯寺小学校が廃校になったのち、株式会社フクールがコワーキングスペースとして、利活用している施設である。今まで、イベントやワーキングスペースとして利用されてきたが、本好きな福崎社長の中で「KOTELLO=本」のイメージがほしいという考えのもと、当時卒業生が株式会社フクールに務めていたことも縁となり、富山短期大学経営情報学科の東野ゼミ生に古本市開催の依頼がきた。

### <イベント日程>

日時:2023年5月21日(日) 10:00~17:00

場所:富山県中新川郡立山芦峯寺8

内容:ブックイベント

施設 HP(<https://www.sanagi.net/>)

### <イベント準備>

①本	<ul style="list-style-type: none"><li>・古本の選書<ul style="list-style-type: none"><li>☞学生が気になった本や知っている本、多くの方から支持されている本を中心に選んだ</li></ul></li><li>・学内での古本募集</li><li>・ブックマンションの選書<ul style="list-style-type: none"><li>☞学生1人1箱の本棚におすすめ本などを入れ、販売を行った</li></ul></li><li>・おすすめ本のPOP作成<ul style="list-style-type: none"><li>☞おすすめの本の紹介文やおすすめポイントを書いた</li></ul></li></ul>
②集客	<ul style="list-style-type: none"><li>・チラシやポスターの作成</li><li>・FM とやま(ラジオ)での広告<ul style="list-style-type: none"><li>☞ラジオ広告を初の試みで行ったが、来場者の方に「ラジオを聞きました」という方が複数名おり、広告の重要性を改めて知ることができた</li></ul></li><li>・Instagram での広告、宣伝</li><li>・ブログの作成</li><li>・のぼり旗の設置<ul style="list-style-type: none"><li>☞旗を校門に立てたことで、古本市をやっていることがすぐわかり、来場に繋がられた</li></ul></li></ul>
③取り組んだこと	<ul style="list-style-type: none"><li>・学生による絵本の読み聞かせ</li><li>・田島由紀子氏の朗読会</li><li>・シールラリー(クイズ)と景品の駄菓子<ul style="list-style-type: none"><li>☞シールラリーは、こどもも大人も楽しめた</li></ul></li><li>・牛乳パックのブックスタンド作成、ブックエンドの製作のワークショップ<ul style="list-style-type: none"><li>☞牛乳パックを利用したワークショップでは、家でもつくってみたいとの声を頂けた</li></ul></li><li>・ハンドメイド商品の作成</li><li>・スイーツの販売</li></ul>

今まで東野ゼミで過去に開催してきた古本市の経験を活かし、準備をした。またワークショップやシールラリーなど体験型イベントでは、来場する方に KOTELLO について知ってもらうために、イベントテーマの〈温もりを感じる〉を軸に学生同士で何をやってみたいか挑戦してみたいか話し合いながら行った。しかし、ゼミ活動では体験型イベントを行ったことがなく、それぞれが準備段階でどのようにしたら来場者の方に楽しんでもらえるか試行錯誤を繰り返していた。また、ラジオ広告や Instagram 等での宣伝においても東野ゼミとしては初めての試みとなったため、多くの人に関心を得るにはどういった内容、工夫等が必要であるかの検討をし、開催を行った。

## ②旧北陸道アート in 小杉での古本市

射水市の小杉地区で毎年秋に行われている地域イベントであり、2日間開催される。富山短期大学が射水市に近いこともあり、古本市の出店を過去5回行っている。特徴は、地域の方が多く来るイベントであり、また道沿いに出店しているため、扉がなく、気軽に来場することが可能である。

### <イベント日程>

日時:2023年9月23日(土)、24日(日) 10:00~16:00

内容:古本市

イベント HP(<http://hokurikudouart.web.fc2.com/>)

### <イベント準備>

①本	<ul style="list-style-type: none"><li>・古本の選書<ul style="list-style-type: none"><li>☞シリーズで多くの本を購入して下さった方がいた</li></ul></li></ul>
----	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>•おすすめ本の POP 作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>☞POP の本が半分程度売れた。</li> </ul> </li> <li>•本の清掃や整理 <ul style="list-style-type: none"> <li>☞本の清掃をしたため、本の汚れに対するクレームはなく、趣がある、年季が入っているという声が聞けた。</li> </ul> </li> </ul>
②集客	<ul style="list-style-type: none"> <li>•Instagram での広告、宣伝</li> <li>•<u>のぼり旗(100 円均一)</u>の発注 <ul style="list-style-type: none"> <li>☞旗を持って呼び込みをしたところ、お客さんが来てくれた。</li> </ul> </li> <li>•ブログの作成</li> <li>•活動についての掲示物作成</li> </ul>
③取り組んだこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>•<u>くじ</u>作成と景品のグッズ</li> </ul>

### ③朱雀堂コラボの古本市

朱雀堂は美濃焼とアクセサリーを販売するお店である。朱雀堂の店長が富山短期大学の卒業生で繋がりがあり、今回一緒にイベントをさせていただくことになった。今回滑川で行った古本市は、私たちの古本市以外にも服や珈琲などを売っている店舗も出店していたため、古本が目的でない方にも立ち寄って頂くことができた。

#### <イベント日程>

日 時:2023年11月5日(日) 10:00~16:00

場 所:滑川瀬和町(旧宮崎酒造)

内 容:古本市 出店(朱雀堂とコラボ)

SNS (<https://www.instagram.com/suzakudo/>)

#### <イベント準備>

①本	<ul style="list-style-type: none"> <li>•古本の選書 <ul style="list-style-type: none"> <li>☞シリーズで多くの本を購入して下さった方がいた</li> </ul> </li> <li>•おすすめ本の POP 作成</li> <li>•本の清掃や整理</li> </ul>
②集客	<ul style="list-style-type: none"> <li>•Instagram での広告、宣伝</li> <li>•県内の図書館に<u>ちらし</u>の配布(富山市立図書館・滑川市立図書館)</li> <li>•のぼり旗の設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>☞街中を歩いて宣伝したため、多くの地域の方々と交流できた</li> </ul> </li> <li>•ブログの作成</li> <li>•<u>ポスター</u>作成</li> </ul>
③取り組んだこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ガチャガチャ(3 冊購入ごとにくじ引き)と景品(ブックカバー) <ul style="list-style-type: none"> <li>☞本の売上が 100 冊を超えた</li> </ul> </li> <li>•新聞紙でブックバックづくりのワークショップ <ul style="list-style-type: none"> <li>☞ワークショップを通して交流できた</li> </ul> </li> </ul>

## 4. 調査研究の成果

ここでは、①~③の各イベントの「インタビュー記録」の一部を載せるとともに、「アンケート結果」を分析する。また、売上統計については、添付資料(1) 売上一覧(2023 年度)に挙げる。

### ①KOTELLO での大型ブックイベント

①来場者からの反応	<p>「KOTELLO にはじめて来たが、また利用したいと思いました」</p> <p>「ラジオを聞いていたら、田島さんの告知が聞こえてきて、興味を持ったので来てみました」</p> <p>「入り口にのぼり旗が立っていたので、寄ってみました」</p> <p>「本がたくさんあって楽しかったです」「ほんとに全部100円なんですか!？」</p> <p>「絵本がたくさんあって嬉しかった」「特にアイヌの絵本が欲しかったのですが、まさかあるなんてびっくりしました」</p> <p>「シールラリーのクイズで KOTELLO や立山について知ることができた面白かったです」</p>
-----------	--

②交流の事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シールラリーにて、家族連れや来場者と KOTELLO や立山町についての知識を共有しながら、学生が KOTELLO 内を案内した。</li> <li>・田島悠紀子さんの朗読会にて、参加した来場者が受付にいる学生に感想を伝えて会話を交わした。</li> <li>・主に立山町でスイーツの販売を行う sankawa さんの商品を来場者の方が購入したり、学生とどんな商品があるかなどの会話を交わしたりした。</li> <li>・来場者の方から学生に、Instagram を紹介してほしいと言われた。</li> <li>・多くの本をご購入くださった方に、沢山ご購入いただきありがとうございますとお伝えしたところ、「近くに本屋ないため本が普段なかなか買えない。定期的にやってくれたら嬉しいです」と声掛けをいただいた。</li> </ul>
--------	--

### <アンケート結果>

古本市を開催するにあたって、来場者へのアンケートを実施した。アンケート項目は、時間のあまりかからないように6項目で行い、31名の方に回答の協力を得ることができた。

#### (1)年齢

20代以下が8名、30代が5名、40代が7名、50代が6名、60代が4名、70代は該当なし、未回答が1名

#### (2)性別

男性が10名、女性が15名、その他が該当なし、未回答が6名

#### (3)お住まいの地域

町内(立山町)が6名、富山県内(立山町以外)が23名、富山県外(その他)が1名、未回答が1件

#### (4)ご購入した物 ※複数回答可

本(1冊→5名、2冊→6名、3冊→6名、4冊→該当なし、5冊以上→8名)が合計で25名、  
ハンドメイド商品が1名、ワークショップが3名、飲食物が8名、その他が1名、購入していないが5名

#### (5)このイベントの来場きっかけ ※複数回答可

Instagram 等 SNS(富山短期大学が発信したもの)が4名、KOTELLO のホームページが2名、FM とやま(ラジオ広告・番組)が8名、チラシは該当なし、その他(紹介→17名、たまたま通った→4名、未回答→2名)の計17名

#### (6)イベントの満足度

とても楽しかったが21名、そこそこ楽しかったが10名、あまり楽しくなかった・楽しくなかったは該当なし、その他も該当なし

今回アンケートに回答いただいた方は、一見して幅広い年代だったが、(1)年齢の欄は未回答が多かった。また、来場者に比してアンケートの回答者数が少ない。アンケート用紙の配置が目立たない場所であったため、回答を行う人が少なかったのではないかと結論付けた。開催場所が立山町だったため、町内の方が主に来られるのではないかと事前に想定してイベントの開催を行ったが、アンケートでは大半の方が立山町以外の富山県内の方が多く見られた。来場きっかけと結びつけると、その他の「紹介」や「たまたま通りかかった」という人が多かった点で、町外に住む学生や KOTELLO 関係者の紹介の影響もあり、他の地域の方にも参加していただけたと言える。

## ②旧北陸道アート in 小杉での古本市

①来場者からの反応	<p>「本の汚れは特に気にならなかったです」 「POPの本に興味を惹かれたので購入しました」 「古本のお店にはじめて来たのですが、楽しめました」 「ほんとに全部100円なんですか!？」</p>
②交流の事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回でくじ引きが引けます、という声掛けを行ったところ、もう1冊で3冊になるのでおすすめの本はありますか?と尋ねていただいたので、どのような本が好みなのか、どのような本を普段読まれるのかと会話をし、選んだ本を購入いただいた。</li> <li>・風が強かったため、来場者の方から「大変ですね」と声掛けをいただき、そのまま販売品に関する会話を交わした。</li> </ul>

### <アンケート結果>

アンケートは実施しなかった。

## ③朱雀堂コラボの古本市

①来場者からの反応	<p>「本当に100円なんですか」 「学生の方々が滑川でイベントをしてくれて、嬉しいです」 「滑川だけではなく、もっと色々な場所で古本市を行ってほしいです」</p>
-----------	--

②交流の事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出店した場所の前に住むお年寄りの方が、開店から閉店まで会話をしながら見守ってくださっていた</li> <li>・ワークショップでは、作業を通し大人から子どもまで会話を交わした。</li> </ul>
--------	---

### <アンケート結果>

古本市を開催するにあたって、来場者へのアンケートを実施した。アンケート項目は、時間のあまりかからないように5項目で行った。今回は6名の方にしか回答の協力を得ることができなかった。

#### (1)年齢

20代以下該当なし、30代1名、40代3名、50代・60代は該当なし、70代2名

#### (2)お住まいの地域

滑川市が2名、富山県内が4名、県外該当なし

#### (3)イベントを知ったきっかけ

ちらし該当なし、Instagram2名、家族・友人該当なし、呼びかけ1名、その他3名(内1名は、通りかかった事がきっかけ)

#### (4)イベントの満足度

満足5名、普通1名。満足しなかったは該当なし

#### (5)ご意見 ※自由記述

今後もこのようなイベントがあれば、楽しいです

急いでいる方が多くアンケートの記入をレジで積極的に勧める事ができなかった点と出店場所が暗くアンケートが見えにくかったという点から、アンケート回答数が少なかったと考えられる。また、お年寄りの方がアンケートの文字が小さく読みづらそうにしておられたので、次回は全ての年代の方に分かりやすく楽しんで答えられるようなアンケートにしたいと考えた。アンケートでは、Instagram を見てきて下さった方がおられ今後はより Instagram での宣伝を積極的に行いたいと考えた。

### 5. 調査研究に基づく提言

ブックイベントや古本市開催後は、図書館総合展において、研究成果をポスターの形で展示を行い、結果を報告した。

### ④図書館界最大のコンベンション+交流イベントである図書館総合展(神奈川県横浜市)

#### <イベント日程>

日 時:2023年10月24日(火)、25日(水) 10:00~16:00

場 所:パシフィコ横浜+オンライン

内 容:ポスターセッション、ブース展示・物販

イベント HP (<https://www.libraryfair.jp/>)

図書館総合展とは、図書館関係で国内最大のトレードショーであると同時に最大級の交流イベントである。館種を越えて図書館関係者が一堂に会しコミュニケーションを深めることができる場は他になく、企業や機関、研究者や学生など立場の異なる参加者が多数集まるため、図書館関連のトレンドを一気に把握するには最適の機会として、また効果の高い広報・発表・発信の場として、利用されている。今回で25回目の開催を迎えた。図書館に関心のある方なら誰でも参加・来場することができ、専門的・実務的に内容から図書館を知るためのコンテンツ、エンタメ要素の強いもの等を揃えている。

第25回図書館総合展2023の総入場者数は、8,362名(10月24日(火)5,686名/25日(水)2,676名)であった。入場者所属割合は、大学・短大・高専図書館 14.2%/公共図書館 15.0%/行政関係 4.2%/学校図書館 5.7%/機関・企業図書館 14.0%/博物館・美術館・公文書館 2.3%/一般企業・個人 26.8%/学生 4.8%/出版関係 8.1%/報道 0.8%/出展者 4.2%となっている。

([ONLINE 出展者説明会 \(libraryfair.jp\)](https://www.libraryfair.jp/)と図書館総合点 HP トップページより)

#### <イベント準備>

富山県唯一の司書養成機関として参加し、活動概要として今まで開催してきたイベントでのワークショップ、ハンドメイドの紹介・販売を行った。今回出展するにあたり、会場とオンラインでのポスターセッションに加えて、新設種目の<1day 出展>に参加することにした。ポスターセッションは、会場ポスター(A0 大)展示に加え出展の PR ページ、イベント紹介ページ、紙版開催案内(招待券)掲載、メルマガ・SNS 掲載ができる、非営利目的限定の出展である。1day 出展では、2長机・イスを配布し、web 特設サイト上での簡易紹介、紙版開催案内(招待券)掲載、メルマガ・SNS 掲載ができる

24日は1day 出展にて物販とポスターセッションに参加、25日はポスターセッションのみ参加した。これまでのブックイベントの紹介を行い、日本全国から集結した様々な業種の方の反応を見ることができる機会となった。

①来場者からの	「凄い」「面白い」「これからも続けてほしいです」
---------	--------------------------

反応	「今度富山に行ってみたいです」「富山に興味を持ちました」 「牛乳パックのブックスタンドは、以前から作り方が知りたかったので凄いいですね！」
②交流の事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古本市に興味を持ってくださり「すごいね」や「これからも続けてほしい」等の言葉を頂くことができた。</li> <li>・富山にゆかりのある人もそうでない人も、活動に興味をもって話をしてくれた。</li> <li>・作品を見て声をかけてくださった方と、お互いの活動について会話を交わした。</li> <li>・ポスターセッションにて来てくださった方に古本市の説明を行ったところ、古本市を行っている方のアドバイスを頂くことができた。</li> </ul>

### <実施内容と感想>

1 日目は、1day 出展にてハンドメイド商品と地元の ZINE の販売を実施し、予想以上に早いスピードで売れていた。立ち寄ってくださった方には、富山について興味を持った方もいて、作品を通してコミュニケーションが生まれ、活動の紹介に繋げることもできた。加えていくつかの商品は完売し、イベント運営側として人々の需要を知る機会となった。またここでの牛乳パックブックスタンドの人気はすさまじく、私たちの活動を通してもっと他に役に立てられることがあるのではないかと感じた。

2 日目は、ポスターセッションにて展示を行った。作成、展示したポスターは、東野ゼミで行った古本市の活動報告となっており、活動ごとにアルバムも作成した。たくさんの方が手に取ってくださり嬉しかった。これからも古本の魅力を多くの方々に伝えられるように、一生懸命活動に取り組みたい。

図書館総合展への参加は、様々な図書館関係者の方と交流を深めることのできた貴重な経験となった。多くの方が本の魅力を伝えるために励んでおられる姿を拝見し、新たな発見や学びがあった。ぜひ来年も総合展に参加し、本を通じて多くの方々と交流を深めていきたい。

### <学び>

図書館総合展では実際に図書館で働く人々の声を聴き、これまでのイベントやワークショップなどの実施を踏まえて、地域を活性化させる方向性に自信を持つことができた。

様々な反応や意見を得ることができたが、特に本にあまり興味のない人にも関心をもってもらうことの重要性に気づくことが出来た。更には、古本市での交流や地域の人々との関係性をもっと分かりやすく伝えるため、図書館総合展だけでなく色々な場面でも実際に古本を販売したり、スライド等を使って地域貢献ができるアプローチをしたりと、今後の活動を発展させるべきであると考えた。

### <情報発信「ネットワークづくり」という面からみたイベントの継続プランの提案>

ブックイベントの中で、ラジオへの出演、SNS など、広報・PR 活動によって、家族連れや高齢者まで幅広い世代に周知できた。結果として、地元はもちろん、他の地域からも多くの方に来場していただけた。

また、イベントを行う中で共通の話題があることで、様々な世代の方と話すことができることが分かった。古本販売以外にも、さまざまな取り組みを行ったからこそ、より交流を深めることができたと言える。

今年度からは、Instagram を中心とした SNS 利用を強化した。広報担当となるメンバーを選出し、投稿やストーリーで定期的な情報発信に努めた。外部とのつながりができることで、また新たに古本市に興味をもって貰える方と繋がるができる。実際に、情報を Instagram から得てイベントに参加された方もいた。

そのつながりは、開催場所の施設関係者だけでなく、イベントの運営者や、一緒にイベントを盛り上げてくれるワークショップや飲食物販売の関係者にも広がっていく。今後は、様々な異なる要素を持つ地域・場所・人と繋がり、交流関係を築き、活動の視野を広げることで、より多くの古本市やブックイベントに関心を持ってくれる県内外の人々に会うことを楽しみにしておく。

## 6. 課題解決策の自己評価

今回は複数の地域でブックイベントや古本市を経験したが、各イベントで来場者に「地元の方ですか？」と質問してきた。「周辺自治体から来ました」という回答や、ブックイベントが主目的で来たという方も多く、改めて富山県民は本に関心がある人が多いと認識した。また、本を通して様々な年代の方、特に、高齢者と会話した中で、「このような本はありますか？」「普段本を読まないが、学生さんがやっているから買うよ」「牛乳パックでブックスタンドが作れるんだ、すごい」「活動がんばってね」などの声をいただいた。

図書館総合展は、図書館に関わる様々な人材が日本全国から集まるイベントであり、我々の活動の報告や情報共有・情報収集の良い機会となった。

最後に、自己評価としては、多世代との交流・他の地域から来ていただくという目標を概ね達成したと考えている。

## 添付資料（1） 売上一覧（2023年度）

		2023						合計
		イベント	KOTELO	小杉1日	小杉2日	総合展	滑川	
		月日	5月21日	9月23日	9月24日	10月24日	11月5日	
	曜日	日	土	日	火	日		
	来場者	人数	143	81	149	-	175	548
	購入者	人数	79	12	23	41	-	155
本（ユネスコ）	冊数	174	44	42	0	67	327	
	金額	¥17,500	¥4,400	¥8,000	¥0	¥6,700	¥36,600	
本（学内寄贈）	冊数	60	3	8	0	50	121	
	金額	¥6,000	¥300	¥800	¥0	¥5,000	¥12,100	
学生制作 ハンドメイド	コースター（¥300）	金額	¥2,100			¥600		¥2,100
	司書さんキーホルダー（¥400）	金額				¥1,600		¥1,600
	ブックカバー（¥300）	金額	¥600		¥300			¥900
	りぼんのしおり（¥200）	金額	¥400			¥1,800		¥2,200
学外制作 商品	ステッカー	金額		¥600	¥220			¥820
	カード	金額		¥2,310	¥1,650			¥3,960
	ZINE	金額				¥7,555		¥7,555
その他	駄菓子（¥100）	金額	¥1,400					¥1,400
	<b>総合計</b>		<b>¥28,000</b>	<b>¥7,610</b>	<b>¥10,970</b>	<b>¥11,555</b>	<b>¥11,700</b>	<b>¥69,235</b>